

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-42 □支援部門		がん検診事業				
主管課	市民健康課	関連課	保健年金課・高齢者いきいき課				
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	市民のがんの早期発見、治療を図る。受診率50%を目指す。						
人口等のデータ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
	事業の対象者数	66,165人					
事業費(千円)	350,951千円	349,037千円	431,730千円				
運営資源状況	(国・県)	25,782千円	0千円	0千円			
	(負担金等)	0千円	0千円	0千円			
	(一般財源)	325,169千円	349,037千円	431,730千円			
	人員配置数	4.0人	4.0人	4.0人			
	人件費(千円)	35,180千円	37,102千円	37,462千円			
	協働のパートナー	鎌倉市医師会 検診機関	鎌倉市医師会 検診機関	鎌倉市医師会 検診機関			
	事務事業運営経費	総事業費(千円)	386,131千円	386,139千円	469,192千円		
	市民1人当りの経費(円)	2,180円	2,186円	2,659円			
	対象者1人当りの経費(円)	5,836円	-	-			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較)	団体名						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
がん検診の受診率	△	目標値	50%	50%	50%	50%	50%
		実績値	28.60%	28.28%			

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。		
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。		
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
がん検診事業	350,951千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒	■A □B □C □D □E	
	事業の概要	・大腸がん、肺がん(40歳以上)、胃がん(個別検診:40歳以上10年ごと、集団検診:40歳以上で個別検診に該当しない方)、子宮がん(20歳以上偶数年齢女性)、乳がん(視触診検診:20~38歳の偶数年齢女性、乳房X線撮影と視触診検診:40歳以上偶数年齢女性)の検診を実施する。				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)					
H22年度の課題	・若年層の検診受診率がなかなか向上しない。 ・10~12月の受診者が集中する時期に、マンモグラフィ併用検診の予約がとりにくくなる状況があった。				
課題解決のための取組	・国の女性特有がん検診推進事業(無料クーポン券検診事業)を鎌倉市でも実施した。 ・乳がんマンモグラフィ併用検診の検診車を日曜日に実施した。				
未解決の課題	・全体的に受診率が伸び悩んでいる。				
今後の方針	・引き続き、国の無料クーポン券事業を鎌倉市でも実施するとともに、健診の重要性などを啓発し受診率向上を図る。				
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止 ⇒	B	※ □事業完了	課長名	市民健康課長 大澤 一則

個別事業の概要

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	22年度予算	22年度決算値	個別事業の評価結果	
がん検診事業	主な個別事業	110 臨時的任用職員賃金(前年度からの繰越明許費)	900	758	■適切	□見直し余地あり
		110 臨時的任用職員賃金	1,240	1,037	■適切	□見直し余地あり
		110 がん検診事業管理事務委託料	2,679	2,225	■適切	□見直し余地あり
		110 集団検診予約等一括業務委託料	8,496	8,333	■適切	□見直し余地あり
		110 がん精密検査追跡業務委託	718	692	■適切	□見直し余地あり
		110 健診結果データ集約等業務委託	5,981	5,200	■適切	□見直し余地あり
		110 大腸がん検診委託料	33,313	32,270	■適切	□見直し余地あり
		110 肺がん検診委託料	146,734	142,296	■適切	□見直し余地あり
		110 胃がん個別検診委託料	31,810	22,790	■適切	□見直し余地あり
		110 胃がん集団検診委託料	17,716	16,894	■適切	□見直し余地あり
		がん検診事業	主な個別事業	110 子宮頸がん検診委託料	50,624	44,404
110 乳がん検診委託料	33,918			27,726	■適切	□見直し余地あり
110 女性特有のがん検診 券発送一括業務委託料	2,561			2,461	■適切	□見直し余地あり
110 女性特有のがん検診 結果データ集約業務委託料(前年度からの繰越明許費)	414			164	■適切	□見直し余地あり
110 女性特有のがん検診 結果データ集約業務委託料	231			204	■適切	□見直し余地あり
110 女性特有のがん検診等委託料(前年度からの繰越明許費)	53,207			18,575	■適切	□見直し余地あり
110 女性特有のがん検診等委託料	26,580			23,360	■適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり